

愛染明王 (あいぜんみょうおう)

愛染明王は、不動明王が姿を変えて現れたとされる明王です。

一般的には恋愛を实らせてくれると知られている明王です。

愛欲を断ち切ることで悟りへの道を進むことになるのですが、愛染明王は断ちがたい愛欲を無理に断ち切ろうとはせずに力に変えてくれます。

その姿は他の明王と同様怒りの顔をしており、

矢と弓を持っています。

彩色・赤色・愛や情欲などの意味があります。

特に赤色は日の輝きを示すと同時に愛欲を象徴されています。

愛染明王は、人間が本来持っている煩惱とされる「愛欲貪染」の心を取り除いてくれる存在として古くから多くのあつい信仰がなされた明王です。

愛が憎しみを生む可能性があり醜い姿に陥ってしまっても

一歩進んで歩くことを教えてくれるのが愛染明王ですが

実際には除魔や降伏にご利益があるとされ、

愛染明王の姿は、顔は忿怒の形相をし、その顔には第三の眼があり、

獅子の首を表した冠を冠っています。

1面6臂の愛染明王の手には、

数珠や弓、矢に三鈷杵、金剛鈴などを持ち時には厳しく、

時にはやさしく救ってくれるとされています。



愛 染 明 王